

令和4年度 学校関係者評価報告書

教学寺幼稚園

1. 本園の教育目標

み仏様のみ教えのもと「心の教育」の追求と育成をその基盤として、文科省が示す幼稚園教育要領に則り個性を尊重してその向上・発展に努め、家庭教育と相俟って純真澁刺たる子どもに育てること。

2. 本年度の重点的に取り組む目標・計画

昨年度に続き「コロナ禍」において健康管理に一番の重点を置きつつも、子どもの心に寄り添った安心・安全な保育とは何かを模索しながら取り組んでいく。

3. 評価項目の達成及び取り組み状況

評価 A：達成している B：一部達成している C：一部改善を要する D：改善を要する

評価項目	評価	評価の理由や取り組み内容
保育の質の向上	A	自園の保育理念を改めて意識しながら、子ども主体で進めていく保育の大切さや面白さを感じることができた。補助教諭と共通理解をもち、今、子ども達が楽しんでいることや必要な事を創意工夫しながら保育し、生き生きとした姿を見ることができた。
危機管理と安全管理	B	避難訓練では、火災・地震・不審者など様々な状況を想定して行って来たが、子ども達自身の意識をもう少し高めていけるよう工夫したい。また、バスの置き去り事件や脅迫メールを受けて、過信や油断、改善すべき点はまだあることにも気付いた。
園内研修と職員の連携	B	職員会議の時間に限らず、全職員が全園児のことを把握できるよう常に連携をとっている。園内研修は、研究発表以降少なくなっているの、気負わずに意見交換や勉強会ができるよう、身近なものとしていきたい。

4. 幼稚園評価の具体的な目標の総合的な評価結果

評価 A：達成している B：一部達成している C：一部改善を要する D：改善を要する

評価	理由
B	「アセスメントシート」の活用により原点に立ち還った保育、子ども主体の保育ができた。コロナ禍前の態勢に戻しつつも、同時に安心安全な保育を心がけ、身の引き締まる思いもあった。

5. 今後取り組む課題

課題	具体的な取り組み方法
保育内容の見直し	自園の保育理念に沿った行事の在り方、活動の仕方を考察する。 70年の伝統と斬新な保育とのバランスを考え、取り組んでいく。
教師としての資質向上	園内研修を身近なものとし、積極的に取り組んでいく。 他のクラスの保育を見て学んだり振り返ったりする。
危機管理	より一層意識を高めるよう心掛ける。 マンネリ化した訓練にならないようにする。

6. 学校関係者評価委員会の評価

コロナ禍という前例のない事態の中、先生がたはよく頑張ってくださいました。子ども達も、不自由な状況で工夫して物事を進めることのやりがいや達成感を学んだと思います。

先生方も、上記の様に誠実に取り組んでくださっているようですので、今後ともよろしくお願ひします。

学校関係者評価委員

印

学校関係者評価委員

印

学校関係者評価委員

印

委員会実施日

令和4年 2月 25日